

広報ふじ

NO. 191

50.10.25 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1
編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

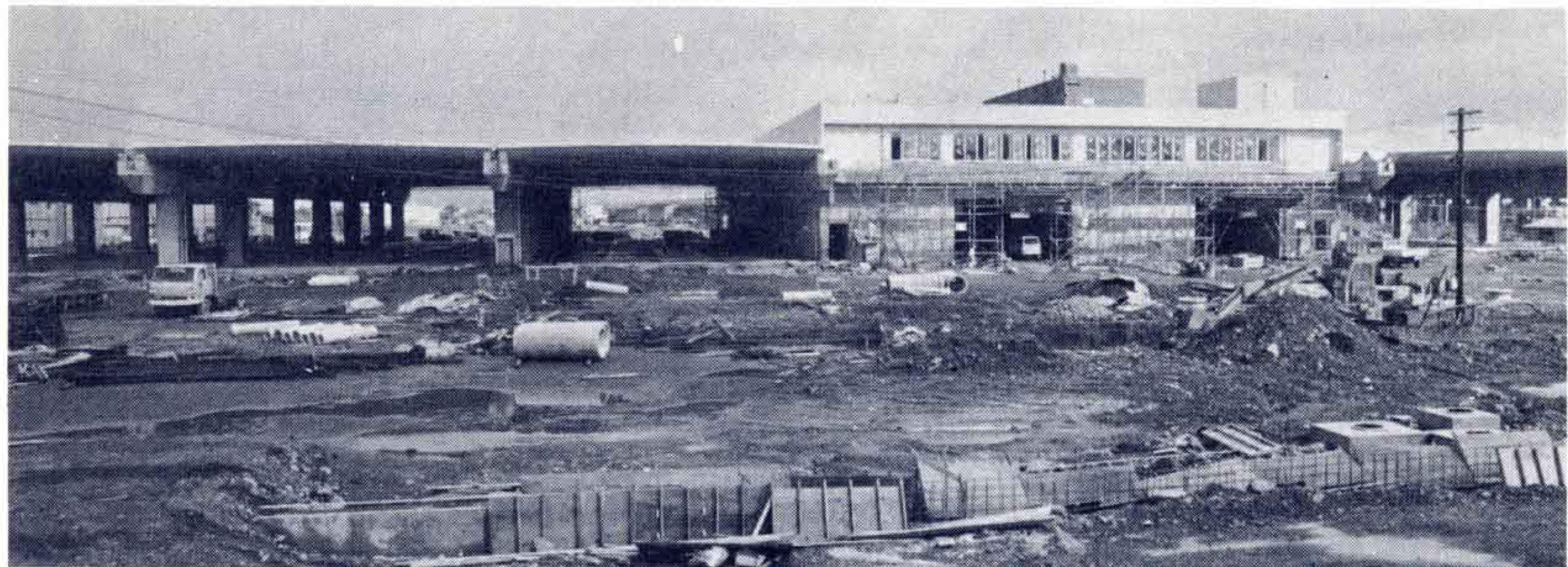


ママのかぼちゃ市・富士市消費者運動連絡会が市内十三会場で実施



消費者と生産者と

51年4月開設をめざす
富士市公設地方卸売市場



新鮮な品物を豊富にそろえ 市民に安定した価格で供給

都市化による農地の減少、兼業農家の増加などによって、岳南地域の農産物の供給は年々減少しています。また、全国の農産物生産地は大型化・専門化が進み、生産物は大消費地あるいは大型市場へむけて出荷される傾向が強まっています。

小さな市場では大型化・専門化された産地から直接生産物を荷引きすることがむずかしいため、大市場からの転送品によってまかなわれているのが現状です。地元で生産される「地場産物」もまとまった荷は大型市場へ出荷され、地元市場へは少量が個人の都合や思惑で出荷されるにすぎず、集荷量は安定しておりません。このため、価格が不安定であったり豊富な荷揃いができず、消費者の購買動向に対応できないなど、色々な問題点が出てきます。

こうした卸売市場をとりまく状況

変化に対応するためには、既存の市場を整備統合して、体質の改善と集荷、分荷機能を強化することが必要となりました。そこで、より新鮮な品物を豊富に数多くそろえ、市民に安定した価格で供給できるような体制をはかるため「公設地方卸売市場」の建設を行うことになり、昨年3月用地を買収し、12月着工しました。

市場の建設地は、田島地先の藤沢薬品東側で、敷地面積は66,000平方㍍です。これまで青果卸売場、水産卸売場、付属店舗などの主体工事もほぼ終り、まもなく冷蔵庫の建設工事に取りかかります。これらの工事は来年3月までに完了しますので、オープンは4月の予定です。

流通圏人口は38万人

市場は富士、富士宮市、富士川町にある既存の青果、水産市場を統合

しますから流通圏も広範囲になります。流通圏は富士市をはじめ富士宮市、芝川町、富士川町、蒲原町、由比町、山梨県の一部（岳南地域）まで含まれ、流通圏人口は現在38万人、昭和55年には約40万人になる見込みです。

市場大型化の必要性

市場を大型化・公設化することは消費者・生産者・業者にとって多くの利点があります。

まず市場が大きくなれば多種多量の生鮮食料品などを集める力が備わり、取引を集中的・能率的に行う機能が発揮できるので、消費者に多くの品目を豊富に、しかも鮮度の良いものを安定して供給できます。

次に卸売業者の経営内容、集荷、分荷機能が強化されるので、生産者に安定した販売の場を提供できます。

市場の機構も近代化され、情報収集機能も整備されるので、適確な生産状況や消費動向を把握し、価格の乱高下を防止調整することができます。

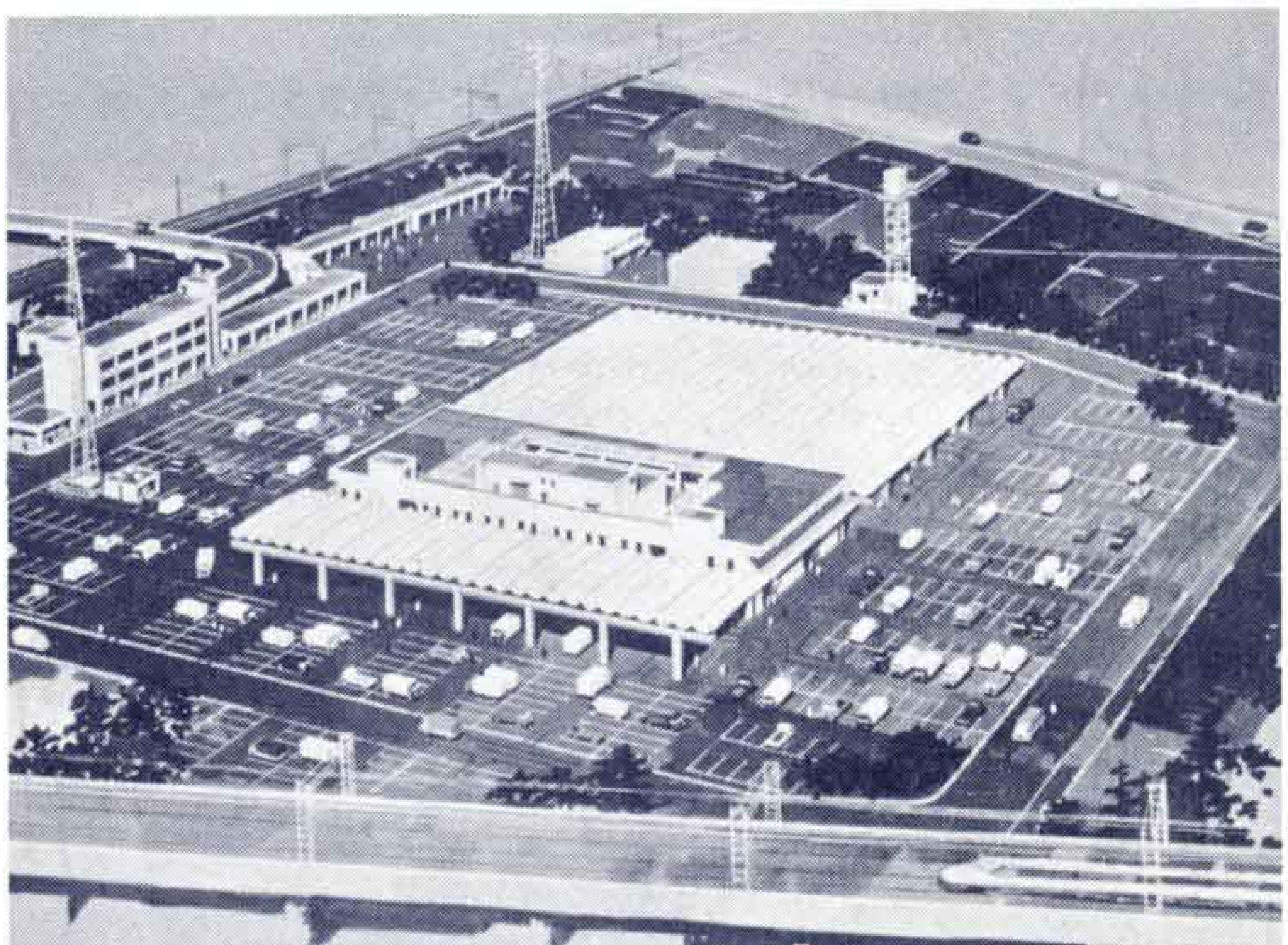
中華人民共和国 國務院總理 周恩來

市場を公設化する ことの効果

市場の開設者は富士市ですから、入場する卸業者は対外的にも信頼性が高まり、出荷者には安定した販売の場の提供、買受人にとっては安定した仕入先となります。

公設市場では、市が決める一定のルールによって公正明朗な取引きが行われるので出荷者も買受人も安心して取引きを行うことができます。

開設者の管理監督により有害食品の監視
場内清潔の徹底など保健衛生面に十分な対
策を講ずることができます。



市場における業者の役割

生鮮食料品が消費者に渡る流通経路は下の図のとおりですが、市場内の業者の役割を説明します。

〔卸売業者〕

出荷者から販売の委託を受け、または買付けた生鮮食料品を仲卸業者や買受人に卸売をする業者です。

〔仲卸業者〕

御完業者から卸しを受けた物品を

市場内の店舗で、仕分け調整分荷して買出入をはじめ買受人に販売する業者です。市場にあっては大量に入荷した物品の迅速な取引と安定した価格を確保するための重要な役割を果します。

(買受人)

仲卸業者とセリに参加し、卸売業者から品物を買ひうけ、消費者に小

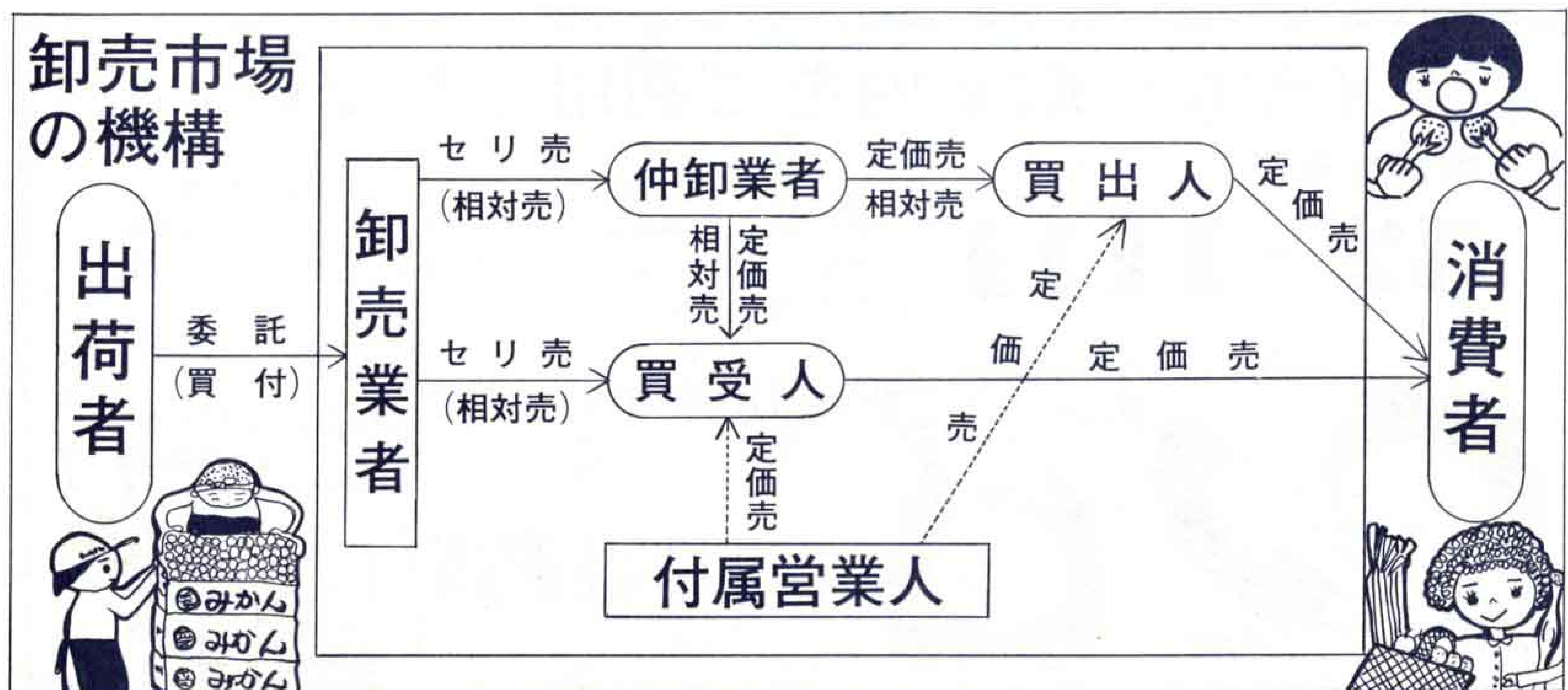
先する業者(八百屋・魚屋)です。

買出人

市場における取引の能率化をはかる目的で買受人とならない小売業者又は買付けた品物を加工して販売する大口の需要業者で、仲卸店舗や付属店舗から直接買付のできる人ですなお、買受人と異なる点はセリに参加できないことです。

(付属営業人)

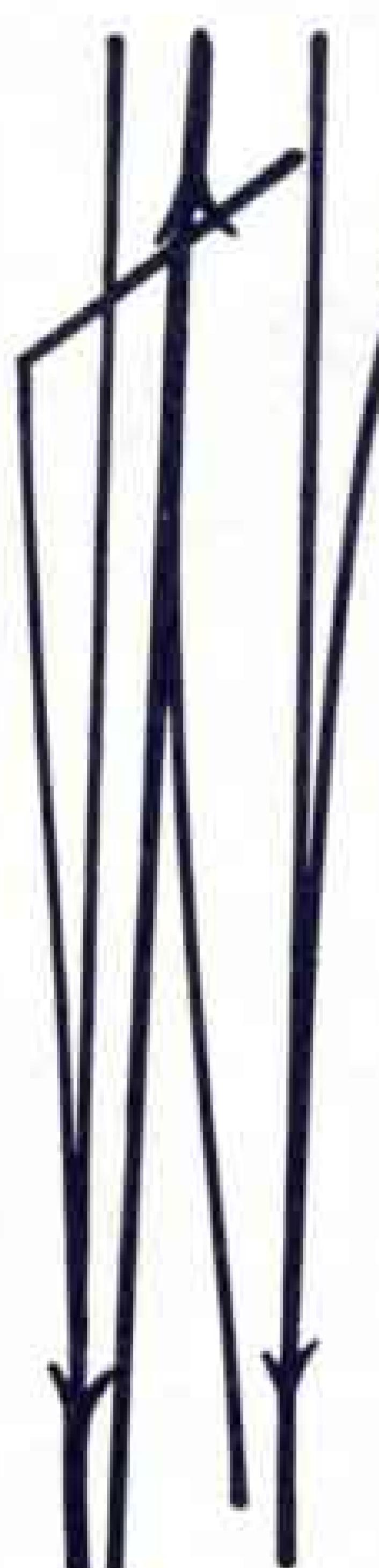
御売業者の扱う品物以外の食料品
や関連商品を取扱う大型問屋等です



昭和50年度市長表彰

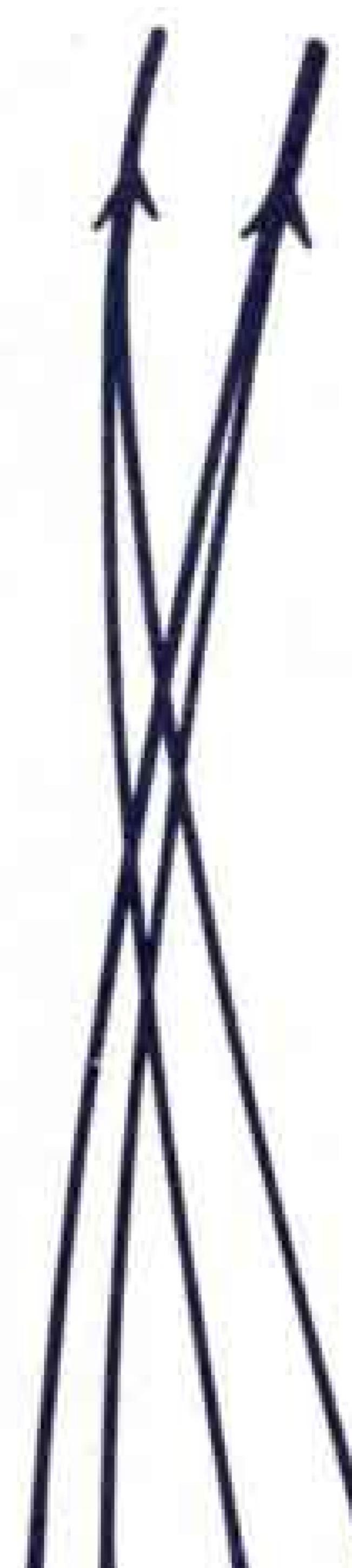
晴れの受彰おめでとうございます

社会福祉功労の杉山さんら8人を表彰



富士市表彰条例にもとづく市長表彰式を、新市制記念日の11月1日、富士市農協会館で行います。今回表彰されるのは、地方自治功労で長谷川恒三さんら6人、産業功労で岩辺藤作さん社会福祉功労で杉山さだ子さんです。

なお 表彰は功労表彰と善行表彰にわかれていますが、功労表彰は市の自治進展、教育、学術、産業などに貢献し多大の功績があった人に贈られます。善行表彰は、市民の模範となるべき善行のあった人に贈られます。なお、表彰者は次の8名の方ですが、敬称は略させていただきます。

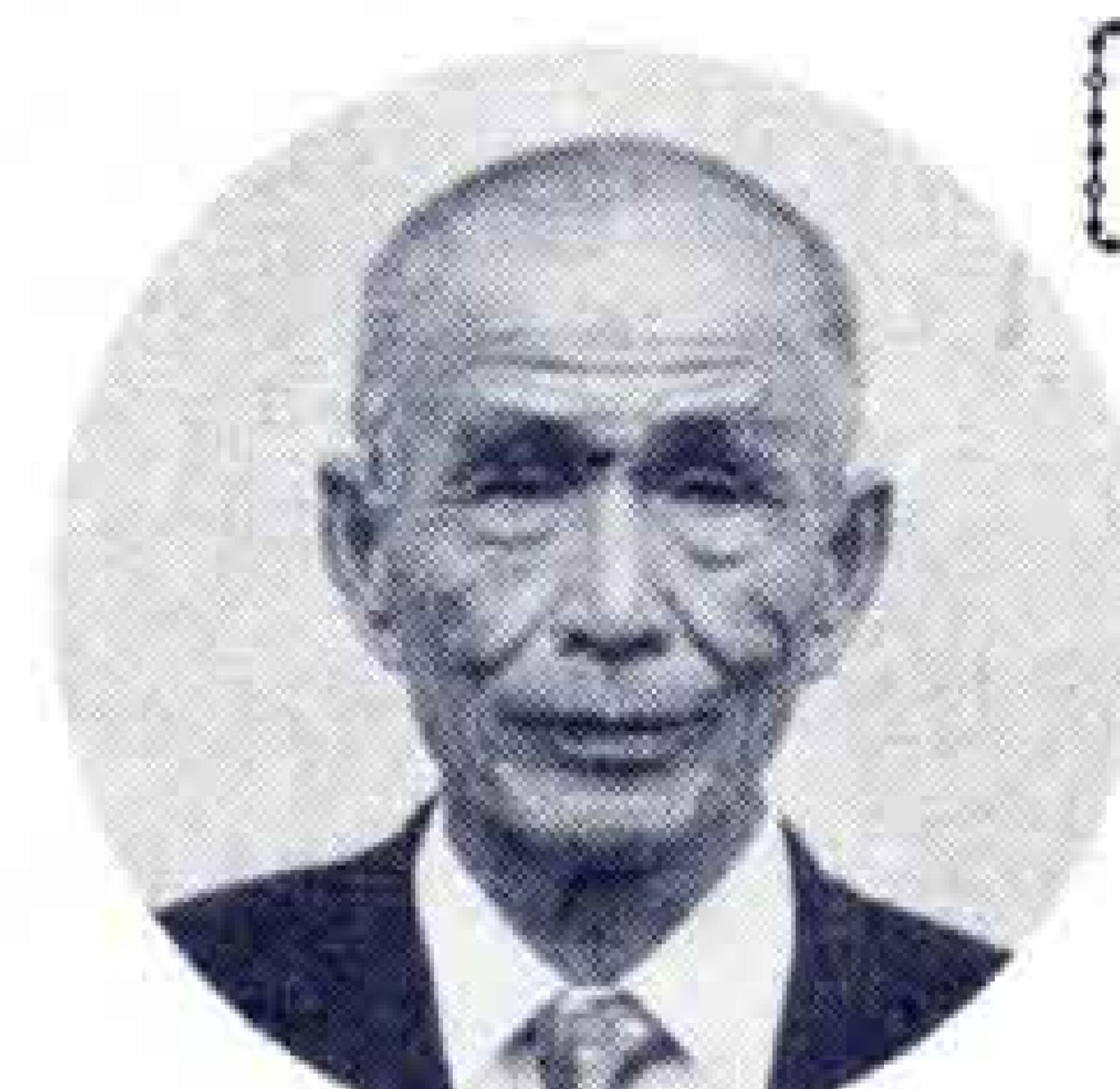


地方自治功労

田村 瞳彰

52才

伝 法



地方自治功労

花崎 年雄

71才

五味島



地方自治功労

長谷川恒三

74才

吉原3丁目



地方自治功労

遠藤松吉

60才

広見東本町



産業功労

岩辺 藤作

76才

宮 島



地方自治功労

佐野 喜郎

66才

水戸島本町



地方自治功労

外山 義一

59才

中 丸



社会福祉功労

杉山 さだ子

68才

今泉7丁目

ダイヤル市政案内をご利用ください

電話番号

52-1111

催し物や各種の募集、予防注射、休日当直医などを電話でお知らせしています。すでに録音してあるテープで、毎日の行事案内を流しますから、いつでも知ることができますのでご利用ください。電話番号は52-1111です。



製紙スラッジ(PS)問題で市民懇話会

中小企業は 共同焼却炉の 建設を計画

昭和46年、製紙排水の水質基準が制定され、それまで汚水といっしょに田子の浦港に排出されていたスラッジ(PS)は、産業廃棄物として処理することになりました。当時130の製紙工場から1日に出るPSの量は約2500トンにのぼり、新たに当市の大きな問題となって提起されました。

そこで、PSの処理については減量対策、有害物質の除去を第1の目的として、業界などと協議検討を重ねました。この結果、PSは焼却による恒久処理が最善の方策ということに意見が一改し、昭和47年9月から2年間の間に焼却炉の建設を進めることになりました。

この間大手企業は、自からの責任において処理する法の基本姿勢をもとに自家焼却施設を建設しました。中小企業は共同焼



【社有地に野積みされているスラッジの山】

却炉の建設に踏切ったもの一部を除いて用地を求めながらも、地元との話し合いがつかず、期間内の建設ができませんでした。

総排出量2000トンの 4分の3を すでに焼却

以上がPS処理についての経過ですが、現在のPS排出量は、1日に約2000トンが排出されています。この内4分の3は焼却されていますが残りの4分の1の500トンは、処理する目途がついていません。これらは工場内や社有地に野積みされたり、業者に委託して他に搬出し処理しているのが実態です。すでに飽和状態にあります。

こうした企

業のPS処理対策いかんによっては、今後業界の動向、ひいては地域の環境保全、住民生活の保持など社会的に大きな影響をきたします。そこで市は、廃棄物処理の研究を行っている学者、関係機関などと対策を検討してきました。同時に市民各層の意見を求めるため、9月28日第1回市民懇話会を開き、現状の説明をして理解を求めました。引き続き第2回目の懇話会を10月21日に開きました。

PSは焼却処理に

その中で多くの方から、減量対策を兼ねたPCB除去を考えるに、従前の市の基本方針である焼却処理方策と暫定的理立の是認、合わせて資源の再利用を充分研究し、地場産業である製紙企業を育成すべく、この状態をもっと理解し市民も一体となって協力し富士市ることは富士市内で解決していく姿勢が強調されました。

今後はこれらの意見を参考にしながら、残りのPS処理対策を1日も早く講じてまいります。



【大工場は自家焼却施設を建設】

園芸ハウスが完成

利用したい人は
福祉課へ申込んで

老人福祉で大切なことは、お年寄りに憩いと生きがいの場を設けて広く社会参加の道を開くことといえます。老人クラブ活動の助長や就労相談など積極的に老人に対する施策を実施してきました。

今年度は、お年寄りに趣味を生かしながら緑化推進に参加していただきましたが、さきごろ完成しました。ハウスは、広見町の社会福祉センターのとなりで、鉄骨づくり50平方㍍、総ガラス張りの立派な施設です。

これから、このハウスを利用してお年寄りに自分の好きな草花を植えて、手入れをしていただくようになりますが、趣味で園芸をやりたい方

は、福祉事務所福祉課（電51-0123 内線234～235）へ申込んでください

【富士市園芸友の会（米山務会長）が、ナデシコ、キンセンカなど秋まき草花の種まき作業】



精神薄弱者巡回相談

11月6日(木)

場所 市役所消防棟3階
受付 午前9時から 午後2時まで

※県精神薄弱者更生相談所職員による判定、静岡養心荘医師による診断などをていますので、相談ごとをおもちの人はお出かけください。

11月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病患者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■11月2日

外科 神谷医院（川成島 61-5900）
米山病院（吉原4 52-3060）

産婦人科 中央病院（本市場61-8800）

■11月3日

外科 藤井医院（松岡 61-7811）
芦川病院（中央町2 52-2480）

産婦人科 柚山医院（厚原 71-4771）

■11月9日

外科 中央病院（本市場 61-8800）
米山病院（吉原4 52-3060）

産婦人科 吉見医院（吉原4 52-2399）

■11月16日

外科 田辺医院（本市場 61-8410）
芦川病院（中央町2 52-2480）

産婦人科 武田医院（西宮島63-5122）

■11月23日

外科 川村医院（富士中島 61-4050）
吉田医院（石坂 51-2515）

産婦人科 山下医院（西国窪52-0611）

■11月24日

外科 中央病院（本市場 61-8800）
井上医院（今泉3 52-0988）

産婦人科 谷医院（八幡町 61-0039）

■11月30日

外科 松本医院（久沢東 71-2570）

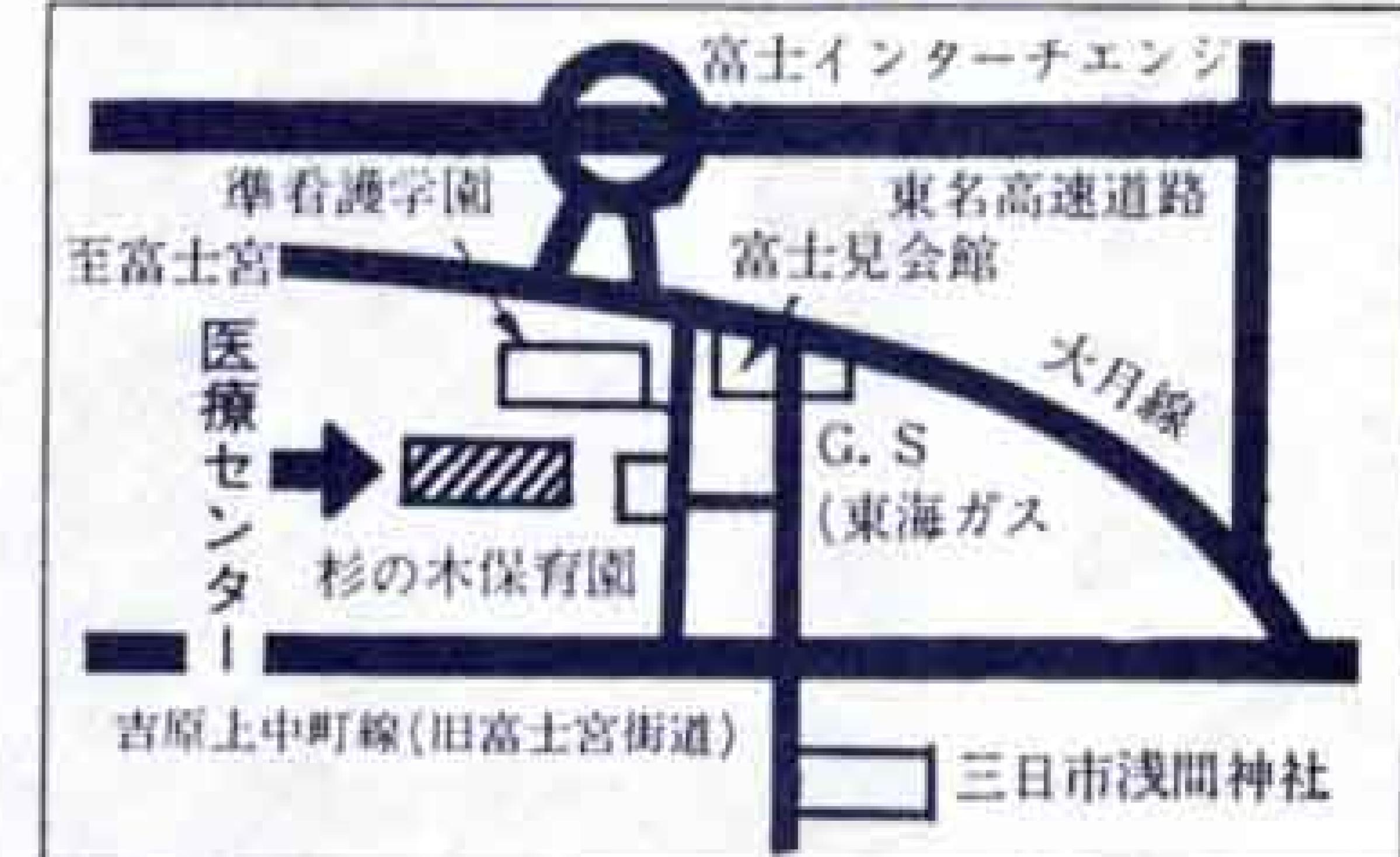
渡辺病院（錦町1 51-3751）

産婦人科 北西医院（本市場61-0019）

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。

医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2（長者町）」電話は52-3104です。



地図と磁石をたよりに ポイントさがし

地図と磁石をたよりに自然を楽しむスポーツとして若い人達に人気があるオリエンテーリング。10月10日第1回富士市オリエンテーリング大会を丸火自然公園で行いました。

男女別、親子、混合など6クラスに別かれ、5~10歳のコースを歩きました。親子グループは5歳コースで、10組が参加し、ススキが背丈より高く茂ったコースをお父さんお母さんといっしょに地図を見ながらポイントさがしに一生懸命でした。

10月14日の鉄道記念日に 富士駅で渡辺市長が1日駅長



富士・吉原ライオンズクラブが清掃奉仕



バレー・ソフトなど19種目に熱戦

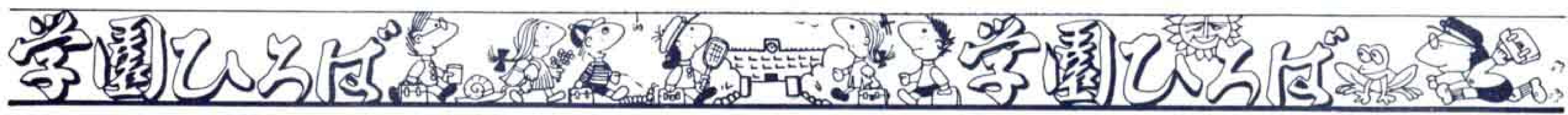


第9回富士市スポーツ祭の開会式を10月9日、市立体育館で行いました。11月3日まで日曜日や祭日にバレー・ボーラー、バドミントン、ソフトボールなど19種目にわたりて熱戦がくりひろげられます。なお、開会式では望月亘さん（宮下）が選手宣誓を行ったあと、体育功労者、優秀団体、優秀選手を表彰しました。

■体育功労者 佐野恒一さん（富士市卓球協会監事） 中村好春さん（富士野球連盟審判長）

■優秀団体 スパローズ 穂清会剣道スポーツ少年団

■優秀選手 鈴木秀明（須津中） 鈴木昭弘（鷹岡中） 石川伸宏（吉原1中） 成宮和具（吉原3中） 城所望（元吉原中）



富士川は、日本三大急流の一つです。

昔の富士川は、岩本山の南側から東南に向って浮島沼のあたりで直接するが湾に流れていきました。自然に流れるままの富士川は、大雨がふれ



かりがね堤

ばはんらんして、家や田畠をおし流してしまいます。

中里の古郡孫太夫重高は、自分の力で富士川に堤防をつくろうと決心しました。堤防があれば、新しい土地ができお米もとれ、新しい村づくりができます。

重高の子供、重政のとき、87ヶ所の新しい土地ができましたが、1660年富士川のこう水でほとんどが流されてしまいました。重政はこんどこそこう水にもびくともしない堤防をつくろうと、いろいろ考えました。富士川の水をななめに流さないで、今のようにまっすぐするが湾に流し、その東側にち

ょうど、かりがね堤を飛んでいるような堤防をつくることを計画しました。

かりがねづみの計画は、重政の子供、重年にひきつがれました。重年は、英語のL字をさかさにした堤防を考えつきました。

広い場所に水をあつめれば、水の力は弱まって少しずつ川下に流れます。こうすれば堤防もくずれないでしょう。むずかしい工事も人柱をたてるなどいろいろ苦心して、やっと58年目に完成しました。

かりがね堤は、300年以上たった今でもどっしりと私達の町をこう水から守ってくれます。

女の子も参加してすもう大会

平垣八幡神社でおひまちすもう大会が10月16日開かれました。飛入りすもうに町内対抗のリーグ戦、土俵に上がった子は口びるをかみしめ真剣そのもの。飛入りすもうには女の子も参加し、友だちから大きな声援を受けていました。また、青年が大福もちとおむすびを無料サービスしてくれみんなおおよろこびでした。



練習の成果を発表 吹奏楽フェスティバル

第7回富士地区吹奏楽フェスティバルが、10月10日吉原市民会館で開かれ日頃の練習の成果をひろうしました。今回は中学校の部に富士南中、鷹岡中、吉原1中、2中、富士宮2中、4中の6校、高校の部は吉原商業、工業、富士高、吉高、富士見、富士宮北高の6校、あわせて12校が参加しました。各学校ともむずかしい曲目を取り入れ演奏を行いましたが、吹奏楽のだいご味が観客にも伝わり、曲目ごとに大きな拍手が送られました。